

プロジェクトレポート

わくわく！楽しい！ 学年の枠をこえて遊べる幼稚園

(異年齢児保育での遊びから学べる環境づくり)



学校法人 白百合学園

認定こども園 白百合幼稚園



こどもたちがたのしく遊べる環境！！

水遊び、遊びの起点となる環境整備

当園の特色を活かすにはコミュニケーションの発生する遊び場

外遊びでの縦割り保育、**学年を超えた**協力・工夫をした水あそび、砂遊び、体力不足を補えるよう楽しく決まった動きのあるものではなく、自ら考えて遊べる環境へ第一歩進みました。



水を協力して運ぼう



ここで料理をつくろう



もしかしたら砂場に水をながせるかも

ウッドデッキで話し合い

水の冷たさや気持ちよさ、冬は雪遊び、砂や雪の感触や形の形成など感性が豊かに
砂遊びでは協力して何かを作りあげ、創造力やコミュニケーション力が培われる

☆保護者からの声☆

- ・水を伴った砂遊びなどは家や公園ではできないことも多いので園でできる場所があるのはうれしい。
- ・汲み上げポンプは使える場所、触る機会もめずらしいのでいい経験になる。(トトロでポンプが出てくるシーンがあってそれが体験できてうれしい)
- ・水場の白い部分が柔らかく滑りにくい加工がしてあるので安心。
- ・砂場、デッキ、池の部分が一体になっていて裸足であそんでも安心できる。



『わくわく！楽しい！学年の枠をこえて遊べる幼稚園』

子どもたちの遊びの変化・成果

- ・年長児4・5人で大きな川をつくらうとしている場面で「水をくみ上げる人」「水を運ぶ人」「水が流れる溝を掘る人」など、**子どもたちから自然と役割を分担する動きが生まれた。**
- ・年下の子が水を汲もうとタライにくると、それに気づいた子がポンプを押している子に「今押したら小さい子にかかっちゃうよ」と声をかけたり興味深そうに見ている子に「やってみる？」と**声をかけてやり方を教えてあげる場面が見られた。**
- ・年長児が水を砂場までバケツで運んでいたが、一人が流しそうめんみたいに水を流そうとアイデアを出して**どうすれば水を流せるか道具を使って高低差をつけたり、切れ目から水が漏れないように並べたり試行錯誤していた。**
- ・ウッドデッキにテーブルやイスをならべてお店屋さんごっこを楽しんでいたときに、カラスノエンドウやシロツメクサなど園庭に生えている野草をつかって料理ごっこを楽しんだり、砂場の砂と水を混ぜて泥水をコーヒーに見立てたりし保育者や友だちに料理をふるまって楽しみました

